



スプレーカーネーション 「カーネ愛知6号」を開発

開発の背景・ニーズ

海外からの輸入の増加による販売価格の低迷や、種苗のパテント料による経費の増加など、生産者を巡る状況は厳しさを増しており、生産者から本県独自のオリジナル品種の開発が望まれていました。

成果の内容

愛知県農業総合試験場は、愛知県花き温室園芸組合連合会カーネーション部会育種クラブの協力を得て、茎が固く花が大きく花柄が長い、フラワーアレンジメントにも向くスプレーカーネーション品種を開発しました。平成23年10月に育成を完了、12月に種苗法に基づく品種登録出願を行いました。



写真1 切り花



写真2 対照品種との比較（花型）

【カーネ愛知6号の特徴】

- 「カーネ愛知6号」は、淡黄緑色の地色に鮮紫ピンクの細い縁取りがあり、花径がやや大きくボリューム感があります。
- 茎は、太く固く伸長性がよく、花数も多く秀品率が高いです。
- 6月下旬定植の場合、採花始めは11月下旬で開花の早晩は中晩生です。

愛知県農業への貢献

これまで開発したスプレーカーネーションとともに、愛知ブランドカーネーションの花色バリエーションが拡充でき、消費者のニーズに応えるとともに、産地振興に大いに貢献する。